

# 日本西アジア考古学会

---

## 2003 年度定例研究会 アフガニスタンの考古学 ―回顧と展望―

---

- 第1回 (第38回) 11月8日 筑波大学学校教育部  
前田耕作 (和光大学名誉教授)  
「アフガニスタンの考古学」…………… 1
- 第2回 (第39回) 12月13日 筑波大学学校教育部  
山内和也 (東京文化財研究所)  
「ユネスコ文化遺産保存日本信託基金による  
バーミヤーン遺跡保存事業」…………… 8
- 第3回 (第40回) 1月10日 筑波大学学校教育部  
宮治 昭 (名古屋大学教授)  
「バーミヤーンの仏教美術の展開」……………16
- 第4回 (第41回) 2月14日 筑波大学学校教育部  
岩井俊平 (京都大学大学院博士課程)  
「6～8世紀のアムダリア川両岸地域における  
土器様相とその背景」……………26
- 第5回 (第42回) 4月10日 筑波大学学校教育部  
田辺勝美 (中央大学総合政策学部教授)  
「ターキ・ブスターン大洞窟の帝王と製作年代」……………32
- 第6回 (第43回) 5月28日 文京シビックセンター  
Jonathan Mark Kenoyer (Prof., University of Wisconsin)  
「Chronology and Interrelations  
between Harappa and Central Asia」……………38